

スマートシティ、スマートハウスを支える パナソニックの総合力

THAILAND

バンコク市内にショールームを開設

タイ経済は1997年のアジア通貨危機により一時停滞したものの、急速に回復し、現在では高い経済成長率を維持。日本企業も数多くの工場を出しています。この地で、パナソニックはこれまで販社が商材ごとにコンシューマーや企業に個別にアプローチし、販社の連携はありませんでした。

2010年4月、デベロッパや企業に直接トータル・ソリューションを届けるために、パナソニック・マネジメント・タイ傘下に総合提案を行う部署を設置。パナソニックの幅広い商材を「まるごと」提案することで総合力が発揮できる体制を整え、太陽光発電システムや店舗用冷凍・冷蔵ショーケースの商材も充実。タイ国内の設計デザイナーやシステムインテグレーター、建設コンサルタントや家具・キッチンメーカーなどと提携し、スマートハウスやスマートシティのマーケットを切り拓いています。

2010年6月には、バンコク市内にB to Bショールーム「Panasonic Life Square」を開設。創エネ・蓄エネ・省エネ・エネルギー・マネジメント（エネマネ）のコンセプトを具現化する商品展示するとともに、タイにおけるキッチン・リビング総合サプライヤーなどと共同で、日本製のIHクッキングヒーターなどを組み込んだ空間提案を行っています。



「家まるごと」展示のLDKコーナー



寝室コーナー



洗面・シャワーコーナー

MALAYSIA

「エコネーションセンター」オープン

2011年12月のオープンに向けて、首都クアラルンプールでは「エコネーションセンター」の建設が進んでいます。これは、「家まるごと」を実現するために現地メーカーとコラボレーションを行った、B to B、B to G（政府）を対象とした、トータルソリューション展示場。再生可能エネルギーによる「創エネ」「蓄エネ」、エコナビを搭載した「省エネ」家電、これらを最適運用する「エネマネ」など、現在の商品だけでなくパナソニックのリニューアルまでを一堂に展示して、「まるごと」ビジネスの加速を推進。太陽電池モジュール「HIT」で覆われたセンターは、快適な空間でありながら、必要とする電気を太陽光で供給し、CO₂排出ゼロを目指しています。



外観CG

※オープン後の展示詳細は次号に掲載予定です

家まるごと事例

The Fine Ari4

バンコク市内の79戸のコンドミニアム。各部屋100m²、2ベッドルームで約2,700万円。中心市街地から2駅と近く、駅周辺には大規模なショッピングモールがある、緑の多い閑静な住宅街。高速道路のアクセスにも恵まれています。パナソニックはキッチンやバス・トイレの空間設計にモジュールを提供するとともに、白物家電、照明器具やスイッチコンセントをはじめ、監視用カメラやPBXまで「家まるごと」納入が実現しています。



シャワー室の電気シャワー

LDK

共用のプール

監視カメラシステム

PBX

コンセント・スイッチ

共用のジム



Fine Home社 Sukit社長夫妻

Fine Home社の設立は2004年。年間、1〜2棟のコンドミニアムを建設しています。今後は、主にバンコクを中心としたコンドミニアム建設を進め、ホアヒンなどのリゾート地にも建設、戸建ての開発もしていきます。

パナソニックとは、今回のThe Fine Ari4からお付き合いが始まりました。パナソニックの製品を知るために日本を訪問し、汐留ショールーム

ムやエコアイデアハウスなど、パナソニックの施設を見て、他メーカーにはないパナソニックの商材の豊富さに感激しました。また、エコアイデアに代表されるエコの機器や、エコのコンセプトが最大の魅力だと感じています。

今後は、高齢者施設の建設を考えており、そのためのノウハウと商材に期待しています。また、太陽光パネルを採用するなど、スマートハウスに向けた取り組みも進めていこうと考えています。

The Royal Green Park

バンコク郊外、外周環状線にあたる高速道路沿いにある59戸の高級分譲住宅。BTSの駅まで約800mで、駅周辺には大規模商業施設や大学もある、緑の多い高級住宅地。最高級の住宅は317m²、2,800万バーツ（約5,000万円）。4棟のモデルハウスが建設され、そこにキッチンシンクをはじめ、スイッチ・コンセント、さらにエコナビ搭載の省エネエアコン、白物家電、TVなど「家まるごと」納入が具現化されました。



パッケージエアコンを装備したLDK

主寝室

キッチン

AV機器も備えた書斎

2Fリビング



NCグループ 副社長 Somnuek Tanthathoedtham氏

NCグループは1994年に父が創業しました。パナソニックとはコンセントやスイッチで取引はありましたが、エコに関する本格的なコラボレーションはこの1年です。昨年、バンコクの

パナソニックショールームがオープンしたときに訪れ、商材の豊富さやエコのコンセプトに驚きました。その後、日本を訪れ、パナソニックセンターやエコアイデアハウス、汐留ショールームなどでパナソニック

クの技術や「エコアイデア」のコンセプトに直に触れ、感動しました。一番感銘を受けたのが、門真の「パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館」を訪問した時です。父が創業したときに苦労したところが、松下幸之助創業者の姿と重なるところがあり、また、創業者によって語られた経営理念のすばらしさに心酔しました。帰国後は日本で得た内容をスタッフと共有し、パナソニックとは長期間にわたってエコでコラボしていこうと決め、「エコパートナー宣言」を行いました。